

和地ひとみレポート No.100

平成 25 年度行政評価における外部評価会議の結果報告発表 まだまだ、市民感覚との乖離が見える行政



■市民委員による外部評価

…東大和市では、より簡素で効率的な行政運営の実現を目指すため、行政評価に取り組んでいます。今年度は425事業の評価をし、その中でも客観性の高い判断が必要な事業6事業については自己評価だけではなく行政評価推進会議において最終評価をおこなっています。また、昨年度から試行的に実施している市民の中より選ばれた委員による『外部評価』を実施。その結果がこのたび公表されました。

■踏襲ではなく変化を求める声

…今年度の外部評価対象は18事業。うち休止・廃止と判断した委員が多くしめた結果のものは5事業。各事業に対する具体的な理由についてはそれぞれですが、全体としての概要は「時代に合っていない(≒形骸化しており活用されていない)」「市の考えが整理されていなく、目的が明確でない」ということを指摘するものでした。…外部評価委員の指摘している点は、もっともであり、一般的な感覚で見た場合、気づくものだと感じます。そして、その原因としては、長年、変化を避け、踏襲をすることが当たり前になっている庁舎内の風土が透けて見えることも事実です。常にコストや利益、効果や効率化などを突きつけられている民間の感覚の中では、事業について日常的に厳しく当たることは当然とされ、変化だけでなく、時には廃止することまでを、困難でも実施することが『仕事』とされる部分があります。…今回の外部評価の『総括』と『今後に向けての委員からの意見』は右記の通りです。外部評価を受けた行政は、一つ一つの事業に対する意見だけではなく、その意見の

後ろにある『市民感覚の真意』までを感じ取り、外部評価対象外の事業にも活かすべきだと考えます。

【外部評価総括】

- ・各担当者は様々な制限の中でそれぞれに努力をしている姿勢は良く理解できた。
- ・新たな課題に向けて取り組もうとしている担当については、委員会として高く評価する。
- ・時代や、都や国の制度が変わった時に、適宜、見直されていかなければいけないものが、見直されていない事例があった。
- ・事務の合理化(類似事業の統合など)のために課題を乗り越えていけるよう、もう一步踏み出して欲しい。
- ・従来から継続している事業を単に踏襲しているだけでは不十分。東大和市の将来に向けて抜本的に変えていくという考え方も持つ必要がある。
- ・固定観念にとらわれず、あるべき方向に向けての斬新な発想が求められる

【今後に向けての委員からの意見】

- ・次年度に向けてテーマを絞り、一層議論が吹き上がるような事業を選定してほしい。
- ・市としての方向性の分かれることが想定される事業を外部評価に出してほしい。
- ・内部事務については、外部評価にかけるまでもなく整理されてしかるべき。
- ・2年の試行を踏まえて、今後も市民の側からの評価の改善を期待している。

家庭系廃棄物有料化(家庭ごみ有料化)方針案発表!! 市の重大施策の計画はもっと綿密に!!

…11月15日に開催された議員全員協議会において、市長部局側よりこのたび策定された『家庭系廃棄物有料化方針』について説明されました。8月後半に素案を持って開催された市民説明会のご意見を踏まえて改訂された主なポイントは①当初は有料化で検討していた缶・びん・ペットボトルは無料②紙おむつは透明または半透明の袋で他のごみが混入していない状態で排出された場合は無料③地域の環境美化のための清掃で回収された廃棄物は透明または半透明の袋で他のごみが混入していない状態で排出された場合に無料④枝木は、50センチメートルを超えない範囲で、ひもで束ねた状態で排出された場合(1回の排出に当たり2~3束)、落ち葉等は、透明または半透明の袋(1回の排出に当たり2~3袋)で、他のごみが混入していない状態で排出された場合に無料という点です。料金については1リットルあたり¥2で変更なし(例:400袋は1枚¥80)。また、排出者責任の明確化のため、戸建住宅については基本的に戸別収集を実施する点も変更はありませんでした。協議会で和地ひとみが疑問に感じたのは「私たちが支払った料金のどれだけが純粋にごみ施策に活かされるのか」という点です。例えば400¥80のゴミ袋を購入した場合、袋の原価と販売店の手数料はいくらで、市が活用できる金額はいくらなのか。協力をしようという前向きな感覚なら知りたいのは当然です。しかし、市からはまだ不明との答弁。なぜ、年間のごみ施策活用金額が見積もることができたのか不思議です。市民の関心の高い重大施策、市民に協力を依頼する施策の計画にしては、計画、試算が甘すぎます。もっと綿密かつ丁寧に計画し、市民にきちんと説明できるようにすべきだと市長部局側には要望しました。



朝の駅前での市民の皆様との触れ合いを大切に・・・

■顔の見える議員として

…日頃、私、和地ひとみの市政報告レポートをお読み頂いていること、心より感謝申し上げます。毎回の私のつたない文章、時には誤字、脱字を発見して、自分で赤面することも何回もありました。平成23年の統一選挙で市民の皆様への負託を受け、議員として市議会に送り出していただいてから、約2年半が経過しました。タイムリーに市政で起こっていることを市民の皆様へ届けたいと考え、月曜日ごとに市政の近況やそれに対する私の考えなどを書かせていただいているレポートもこの号で100号となりましたので、少し、私の考えを書かせていただきます。

…私は、投票日翌朝に抱負などを書いたビラを同じく駅前で配布しましたが、それを作成する際、一番最初に心に浮かんだことは「顔の見える市議であり続けよう」ということでした。私が会社勤めをしている際も、選挙となれば通勤で利用していた駅前には候補者の方が演説をしたり、ビラを配布したりしていましたが、選挙が終わると静かになり、私の中でも自治体の状況や自分が投票した人についての関心も薄れてしまっていたことは事実です。

…サイレントマジョリティ（静かな多数派）という言葉がありますが、現役世代の方は、まさしくサイレントマジョリティです。自身の日々の生活が多忙で、なかなか地域のこと、市政のことまでは考えられない。しかし、自分の生活や子供のことが市政とつながっていることはわかっています。だから、そういう方たちの感覚や考えを代弁してくれる議員が必要なのではないかと考えています。市議会議員には様々な役割があり、議員にはそれぞれのスタイルもありますが、私は、自分に負託して下さった市民の方に、報告や自身の考えを日常的に伝えることも、重要な役割の一つではないかと思うと同時に、市民の皆様へその感覚を知るために、顔を合わせることも大切なことだと信じています。

…ありがたいことに「朝から御苦勞様」とお声をかけてくださる方もいらっしゃいます。しかし、駅を利用されている方も朝から動き出していることは同じです。それぞれが、自分の仕事、役割を行うという点は、私も駅を利用されている市民の皆様と同じですので、ありがたいお言葉と思うと同時に、「皆様と同じことです」からとも感じています。また、1年が過ぎた頃から、決まった曜日に駅に立つことで、気軽にご意見やご相談がいただけることも多くなっています。中には駅を利用されないにも関わらず、駅を訪ねて来てくださる方もおり、市民の皆様へ気軽に声をかけていただくうえでも駅に立つことは大切だと感じるようにもなりました。

議員の家や役所の議員控え室を訪ねていくほどではないけれど、気になること、相談したいことを多くの方が持っていらっしゃることもわかりました。…市政は生活に根差したものです。地方自治の重要性が高まっている昨今、住む町によって変わることも多々あります。市政は国政のような派手さはありませんが、生活に直結する部分が多い分、市民感覚、市民の理解が重要だと考えます。会社勤めをしている際も、机上ではわからなかったこと、気づかなかったことが現場に出向くこと、お客様に直接会うことで見つけられたということが沢山ありました。行政側に疑問を感じることの根っこは、このような市民感覚（≒民間企業の感覚）との乖離が原因のことが多いのも事実です。行政には民間のようにいかない部分もありますが、自治体間競争が激しい今、市民感覚がもっと行政に取り入れられるよう、また、時代に合い「市民が暮らしてよかった」と思えるような発展、進化をするよう、これからは行政に意見を伝えていきたいと考えています。その源となっていることの一つとして、朝の駅前は私の中でとても重要なものとなりました。今後も、駅前でのレポート配布を続けさせていただきます。ご意見などございましたら、お気軽にお声がけいただけましたら幸いです。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思えます。」



【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102